

モエレ沼公園のグランドオープンについて

故イサム・ノグチ氏の最後の作品であるモエレ沼公園では、先般、「海の噴水」が完成したことにより、公園内の造成がすべて完了し、今年7月1日にグランドオープン記念行事を開催する運びとなりました。

この公園は、昭和63年(1988年)公園のマスタープランを手掛けたイサム・ノグチ氏が、そのプランを完成させた直後に急逝した後、遺志を継いだイサム・ノグチ財団とともに本市が足かけ17年にわたり造成を続けてきたものです。

本市では、このモエレ沼公園の完成を機に、より多くの方々に札幌の新たな魅力としての「アート」を知っていただけるよう、同公園のグランドオープンを軸として、さまざまな記念行事を実施します。

1 グランドオープン式典

(1) 日時：平成17年7月1日(金) 17:30~19:00

(2) 会場：ガラスのピラミッド

(3) 内容： イサム・ノグチの死後、モエレ沼公園の監修に当たったイサム・ノグチ財団理事のジョージ・サダオ氏から上田市長に認証状が手渡されます。

また、同財団の関係者など、公園の設計や造成などに携わった方々が国内外から参加するレセプションが行われます。

2 グランドオープン記念行事

(1) Club SJFコンサート

〔日時〕：7月1日(金) 18:30~19:00

〔会場〕：公園内特設ステージ(海の噴水付近)

〔内容〕：札幌芸術の森が主催する「札幌・ジュニア・ジャズスクール」所属の中学生によるビッグバンドのジャズ演奏で、札幌から発信される新たな文化を象徴するものです。

〔演目〕：「sing sing sing」、「SPAIN」、「GET ME TO THE CHURCH ON TIME」ほか3曲

(2) 「海の噴水」通水式、アートパフォーマンス「GRAND」

〔日時〕：7月1日(金) 19:10~20:45

〔会場〕：海の噴水、公園内特設ステージ、モエレビーチ

〔内容〕：グランドオープン記念行事のハイライトとして、このたび完成した「海の噴水」の通水式が行われます。

この「海の噴水」は、大阪万博をはじめ、多くの噴水を手掛けてきたイサム・ノグチ氏が残した、「宇宙・地球・自然」などをイメージした水の彫刻です。

来場者皆さんのカウントダウンによって、通水が開始され、約40分間の変化に富んだプログラムが展開されます。また、夜はライトアップされ、幻想的な雰囲気演出されます。

通水式終了後、本市在住の現代美術家である端 聡(はた・さとし)氏が芸術監督を務めるアートパフォーマンス「GRAND」が始まります。これは、公園内に配置されたプロジェクターによる音と光と映像の中で、クネス・バスラフ氏(オランダ、ネザーランドダンスシアター・プリンシパル)および日本人のダンサーによる身体による芸術表現です。

(参 考)

【「海の噴水」打ち上げスケジュール】

7月2日(土)から10月31日(月)まで、以下のとおり運行します。

- ・7月~8月：平日 13:00/16:00/19:30
土・日・祝日 10:30(S)/13:00/16:00/19:30
- ・9月~11月：平日 13:00/16:00(S)/18:30(S)
土・日・祝日 10:30(S)/13:00/16:00(S)/18:30(S)

各プログラムの所要時間は約40分間です。時間中の「(S)」は、ショートプログラム(所要時間20分間)での運転となります。

(3) ウォータービジョンによるパフォーマンス

〔日時〕: 7月1日(金) ~ 3日(日) 夕方

〔会場〕: モエレビーチ

〔内容〕: 幅 80メートル、高さ 20メートルに及ぶ水のスクリーンに映し出される映像とレーザー光線による光と音のパフォーマンス。世界でも例を見ないスケールの荘厳な空間が生まれます。

(4) フレンチ&シャンパンピクニック

〔日時〕: 7月の土・日 11:00~16:00

〔場所〕: ガラスのピラミッド・オープンテラス

〔内容〕: 公園内のフレンチレストラン「ランファン・キ・レーヴ」が提案する、屋外でのピクニック。シャンパンメーカーのヴーヴクリコ社の協賛により、シャンパン付ランチバスケット(1,800円)を提供します。

〔問い合わせ先〕: ランファン・キ・レーヴ (791-3255)

3 グランドオープン関連行事

(1) 写真展「坂田栄一郎・天を射る」

〔期間〕: 5月28日(土) ~ 8月28日(日)

〔会場〕: ガラスのピラミッド

〔内容〕: 第24回土門拳賞を受賞した坂田栄一郎氏の写真展。著名人の肖像写真と自然写真を組み合わせることで、人と自然の共生を表現した作品群が展示されており、モエレ沼公園のコンセプトに合致した、グランドオープンにふさわしい写真展です。

〔問い合わせ先〕: 札幌テレビ放送事業局 (272-8271)

(2) モエレ沼公園完成記念「イサム・ノグチを語る夕べ」

〔日時〕: 6月25日(土) 18:00~20:00

〔会場〕: ガラスのピラミッド

〔内容〕: イサム・ノグチ自伝「イサム・ノグチ - 宿命の越境者」の作者のドウス昌代さんを交えた、イサム・ノグチとモエレ沼公園を語るフォーラム。

出席者: ドウス昌代(作家、米国在住)

酒井 忠康(世田谷美術館長)

川村 純一(アーキテクトファイブ代表取締役)

〔問い合わせ先〕: 北海道新聞社事業局 (210-5731)

(3) 「モエレ沼公園を舞台に子どもたちで映画を作ろう」~子ども映画制作ワークショップ

〔期間〕: 6月~9月

〔内容〕: 中学生による映画制作ワークショップ。モエレ沼公園を舞台に、未来の映像文化を担う子どもたちによる実際の映画制作体験を通して、子どもたちの感性を高めるとともに、子どもの手によるユニークなPR素材を創造します。

〔問い合わせ先〕: シアターキノ (231-9355)

(4) PMF木管アンサンブル演奏会

〔日時〕: 7月10日(日) 13:00~13:30

〔会場〕: ガラスのピラミッド

〔内容〕: 世界3大教育音楽祭といわれ、札幌の夏の風物詩となったPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)の開幕に合わせた、同楽団員によるコンサート。札幌らしい音楽文化を発信します。

〔演目〕: R.シュトラウス作曲「13の吹奏楽器のためのセレナード作品7」

ドヴォルザーク作曲「セレナード 二短調 作品44」から抜粋

〔問い合わせ先〕: PMF組織委員会 (242-2211)

(5) イサム・ノグチ展「ゼロからほとばしるエネルギー」

〔期間〕：7月2日(土)～8月28日(日)

〔会場〕：札幌芸術の森美術館

〔内容〕：札幌芸術の森美術館開館15周年記念展。モエレ沼公園に関するものを中心に、ニューヨークのイサム・ノグチ財団・庭園美術館の所蔵作品を含む、45点の作品と資料類が展示されます。香川県牟礼(むれ)町のイサム・ノグチ庭園美術館から運ばれてきた、高さ約3.6メートル、重さ17トンにも及ぶ作品「エネルギー・ヴォイド」が水上に設置されるところが最大の見どころです。

〔問い合わせ先〕：札幌テレビ放送事業局(272-8271)

4 モエレ沼公園へのアクセスについて

モエレ沼公園への公共交通機関でのアクセスを充実し、隣接する「サッポロさとらんど」との一体的な活用による魅力の向上を図るため、実験的な交通機関の運行を行います。

(1) シャトルバスの運行

通常の路線バスに加えて、毎週土・日、祝日にシャトルバスを運行します。地下鉄東豊線栄町駅より丘珠空港、サッポロさとらんどを経由してモエレ沼公園まで30分間隔で片道約20分間。

〔期間〕：7月1日～3日、9日～11月3日の土・日、祝日

〔時刻〕：30分間隔で運行(毎時00分、30分発)

地下鉄東豊線栄町駅発：午前9時～午後5時

モエレ沼公園発：午前9時30分～午後5時30分

(7月1日 午後9時00分、2、3日午後8時45分便あり)

〔料金〕：片道200円(地下鉄との乗り継ぎ割引あり)、1Dayカード、エコキップ使用不可。

〔問い合わせ先〕：北海道中央バス東営業所(782-6125)

(2) モエレ沼公園・サッポロさとらんど間周遊馬車の運行

さとらんど・モエレ沼公園間を馬車により周遊し、一体的な魅力の向上を目指します。片道約1.5キロメートル、30分間。

〔期間〕：7月1日、7月2日～9月17日の土・日、祝日および8月15日～19日

〔発車場所〕：さとらんど「まきばの家」付近、モエレ沼公園「ガスのピラミッド」付近

〔時間〕：午前10時～午後4時、1日8往復程度

〔料金〕：大人1往復400円、小中学生1往復200円

〔問い合わせ先〕：札幌市経済局農務部農政課(211-2406)

天候によって日時等が変更になる場合があります。

【問い合わせ先】

グランドオープン全般について

観光文化局観光部観光企画課(211-2376)

モエレ沼公園の施設に関すること

環境局みどりの推進部みどりの管理担当課(211-2536)

なお、問い合わせ先を付記した行事については、それぞれ直接お問い合わせ願います。